

# NPO法人 事業報告書等作成のポイント



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

埼玉県北部地域振興センター

1

## 本日の内容

- 1 事業報告書を作成する意義
- 2 事業報告書等とは？
- 3 各書類の確認ポイント

2

# 事業報告書を作成する意義 ～NPO法人の情報公開～



埼玉県マスコット「コバトン」

3

## なぜ作成する必要があるのか？

### ■特定非営利活動促進法（NPO法）第29条

特定非営利活動法人は、都道府県又は指定都市の条例で定めるところにより、毎事業年度一回、事業報告書等を所轄庁に提出しなければならない。

### ■特定非営利活動促進法の施行に関する条例第6条

特定非営利活動法人は、法第二十九条の規定による書類の提出を毎事業年度初めの三月以内に行わなければならない。

⇒提出を怠ると**20万円以下の過料**に課されるほか、最悪の場合**認証の取消**も...

4

# なぜ作成する必要があるのか？

## ■特定非営利活動促進法（NPO法）の考え方

NPO法人の自主性・自立性を尊重し、情報公開を通じた市民の判断が前提

⇒情報公開は法人が社会的信用を得るための義務

◎ルールに則った見やすい報告書の作成が必要

5

## 事業報告書等とは？



埼玉県マスコット「コバトン」

## 事業報告書等とは？

- 前事業年度中に実施した事業の成果や内容を報告するもの
- 事業内容、決算書類、資産状況、役員・社員などを記した7種類の書類
  - ・事業報告書等提出書
  - ・事業報告書
  - ・活動計算書
  - ・貸借対照表
  - ・財産目録
  - ・年間役員名簿
  - ・社員のうち10人以上の者の名簿

7

## 作成・提出時の注意事項など

- 毎年事業年度初め3か月以内にセンター・本庄市に提出 活動実績がない場合も提出が必要
- 提出された書類は共助社会づくり課・地域振興センターとホームページで公開（\*本庄市）  
（一般の方が閲覧・謄写可能）
- 作成の日から起算して5年が経過した日を含む事業年度の末日までの間（約5年間）事務所に備え置く必要あり

8

# 提出書類一覧

	書類名	事務所保管 (5年間)	所轄庁提出	インター ネット公開
1	事業報告書等提出書	×	○ (1部)	×
2	事業報告書	○	○ (1部)	○
3	活動計算書	○	○ (1部)	○
4	貸借対照表	○	○ (1部)	○
5	財産目録	○	○ (1部)	○
6	年間役員名簿	○	○ (1部)	○※
7	社員のうち10名以上の者の名簿	○	○ (1部)	○※

※住所をマスキングして公開

本庄市では令和6年4月より  
1部となる予定です！



9

## 各書類の確認ポイント



埼玉県マスコット「コバトン」  
10

# 事業報告書等提出書

ガイドブックP.71

様式第8号  
A4 事業報告書等提出書

\*書類提出日  
令和〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 埼玉県知事

埼玉県熊谷市〇〇〇〇番地△△ビル2階205号  
特定非営利活動法人食生活支援クラブ  
代表者氏名 埼玉一郎  
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

特定非営利活動促進法第29条の規定により、前事業年度（令和〇〇年4月1日から令和〇〇年3月31日まで）の事業報告書等を提出します。

\*この提出書には、次の書類3部を添付します。  
1 前事業年度の事業報告書  
2 前事業年度の活動計算書  
3 前事業年度の貸借対照表  
4 前事業年度の財産目録  
5 前事業年度の年間役員名簿  
6 前事業年度の末日における社員のうち10人以上の者の氏名（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）及び住所又は居所を記載した書面

①提出日を記載します  
(郵送の場合は郵送日)

②宛先は埼玉県知事です  
(本庄市の法人は本庄市長)

③法人住所、法人名、代表者名、  
電話番号を記載します

※法人住所、法人名は定款どおり  
に記載

④前事業年度の期間を記載します

# 事業報告書

ガイドブックP.72

A4 令和〇〇年度 事業報告書

特定非営利活動法人食生活支援クラブ

1 事業の成果  
法人設立2年目である〇〇年度は、会員数120名を達成し〇〇地区での事業の基盤を作ることができた。  
「配食サービス提供」事業については、当初予算〇〇万円に対して、決算額〇〇万円となった。これは、〇〇地区において、配食提供のニーズが予想を超えて増加し、高齢者・障害者への食事提供が50名となったためである。「講習会・イベント」事業については、地域の方を対象に、「地域の健康と福祉」というテーマで4回のセミナーを開催した。延べ300名の参加があり、当クラブの地域ネットワークを広げることができた。  
その他の事業としての「駐車場運営事業」においては、〇〇市内に6台分運営をしている。事業収益として72万円をあげることができ、この収益のうち67万9千円を特定非営利活動に係る事業の配食サービスに充てた。

2 事業の実施に関する事項（令和〇〇年4月1日～令和〇〇年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	人数	支出額(千円)
配食サービス提供事業	安全・こだわり食での配食サービス	月～金	〇〇地区	20名	〇〇地区の高齢者・障害者	0名	7,556
講習会・イベント開催事業	「地域の健康と福祉」をテーマにした講習会	10月	〇〇公民館	10名	〇〇地区の高齢者・障害者	300名	796
地域ふれあい促進事業	広報誌の作成	6月・9月 12月・3月	事務所	3名	〇〇地区市民	300名	848

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	人数	支出額(千円)
駐車場運営事業	駐車場の運営	通年	〇〇市内	1名	契約者	6名	900

1 別添  
\*①定款の事業の種類に掲げた事業名(定款外では振込名)を記載します。  
\*②支出額の合計額と活動計算書の事業費の合計額を一致させます。金額の単位は円単位でも可。\*  
\*所轄庁の承認で追加の説明をお願いする場合があります。  
\*定款の事業の種類に掲げた事業を実施しなかった場合は、それぞれ「実施なし」と記載します。  
\*記載された内容は、原則、インターネット公開します。

①「定款の事業名」には定款の「事業の種類」に掲げた事業名を記載します

②「事業内容」は具体的に記載してください  
※事業を実施しなかった場合は「実施なし」と記載してください

③支出額の合計と「活動計算書」の事業費の合計は一致します。

# 活動計算書

ガイドブックP.73~74  
(その他の事業がある場合はP.75~76)

■特定非営利活動法人の当期の正味財産の増減原因を示す計算書

$$\text{経常収益} - \text{経常費用} + (\text{経常外収益} - \text{経常外費用})$$

- ・受取会費
- ・受取寄附金
- ・受取助成金
- ・事業収益
- etc...

- ・事業費
- ・管理費

**= 当期正味財産増減額**

当期正味財産  
増減額

+

前期繰越  
正味財産額

=

次期繰越  
正味財産額

13

# 活動計算書

ガイドブックP.73~74  
(その他の事業がある場合はP.75~76)

4

年度 活動計算書  
(成立の日から令和00年3月31日まで)  
特定非営利活動法人食生活支援クラブ  
単位 円

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	240,000	
賛助会員受取会費	1,200,000	1,440,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	200,000	
施設等受入評価益	200,000	
ボランティア受入評価益	50,000	450,000
3 受取助成金等		
受取民間助成金	679,000	679,000
4 事業収益		
配食サービス提供事業収益	6,600,000	
講習会・イベント開催事業収益	600,000	
地域ふれあい促進事業収益	0	7,200,000
5 その他収益		
受取利息	300	
雑収益	1,000	1,300
経常収益計 (A)		9,770,300

\*社会保険料、労働保険料などは法定額

①「事業収益」には事業の実施によって得た収益を各事業名（定款に掲げた事業）ごとに記載します

②会費や寄付金等に計上できない収益は「雑収入」に記載します。  
※その他の金額に比べて過大になるのは望ましくありません。

14

# 活動計算書 (経常費用)

ガイドブックP.73~74  
(その他の事業がある場合はP.75~76)

II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
役員報酬	100,000		
給料手当	1,700,000		
臨時雇賃金	2,880,000		
法定福利費	210,000		
ボランティア評価費用	50,000		
人件費計	4,940,000		
(2) その他経費			
仕入高	2,500,000		
旅費交通費	24,000		
車両費	150,000		
水道光熱費	180,000		
地代家賃	756,000		
施設等評価費用	200,000		
減価償却費	300,000		
保険料	150,000		
その他経費計	4,260,000		
事業費計		9,200,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	141,500		
人件費計		141,500	
(2) その他経費			
会議費	30,000		
旅費交通費	24,000		
通信運搬費	120,000		
水道光熱費	96,000		
地代家賃	100,800		
租税公課	5,000		
その他経費計	375,800		
管理費計		517,300	
経常費用計 (B)			9,717,300
当期経常増減額 (A-B)			53,000

事業費：事業で要した費用  
管理費：法人の維持・管理に要した費用

- ① 事業費 > 管理費になるようにする
- ② 事業費計と「事業報告書」の活動費計が一致する。

15

# 活動計算書 (その他)

ガイドブックP.73~74  
(その他の事業がある場合はP.75~76)

当期経常増減額 (A-B)			53,000
III 経常外収益			
1 固定資産売却益		1,000,000	
経常外収益計 (C)			1,000,000
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		31,000	
経常外費用計 (D)			31,000
① 当期正味財産増減額 (A-B+C-D)			1,022,000
② 設立時正味財産額 (前事業年度は「前期繰越正味財産額」)			200,000
次期繰越正味財産額 (①+②)			1,222,000

※前期繰越正味財産額は、前事業年度の活動計算書の次期繰越正味財産額と一致  
※次期繰越正味財産額は、貸借対照表の正味財産合計と一致  
計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- ① 前期繰越正味財産額が前事業年度の次期繰越正味財産額と一致する
- ② 次期繰越正味財産額が「貸借対照表」の正味財産合計と一致する

16



# 「その他の事業」

A4 年度活動計算書 (令和〇〇年4月1日から令和〇〇年3月31日まで)  
特定非営利活動法人食生活支援クラブ

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
正会員受取会費	240,000		
賛助会員受取会費	1,200,000		1,440,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	200,000		
施設等受入評価益	200,000		
ボランティア受入評価益	50,000		450,000
3 受取助成金等			
受取民間助成金	678,000		678,000
4 事業収益			
配食サービス提供事業収益	6,600,000		
講習会・イベント開催事業収益	600,000		
地域ふれあい促進事業収益	0		
駐車場運営事業収益		1,200,000	8,400,000
5 その他収益			
受取利息	300		
雑収益	1,000		1,300
経常収益計(A)	9,770,300	1,200,000	10,970,300
<b>III 経常外収益</b>			
1 固定資産売却益	0		0
経常外収益計(C)	0		0
<b>IV 経常外費用</b>			
1 過年度損益修正損	50,000		50,000
経常外費用計(D)	50,000		50,000
経常区分振替額(E)	400,000	400,000	0
前期繰越正味財産額(A-E-D)	403,000	0	403,000
前期繰越正味財産額	1,222,000	0	1,222,000
次期繰越正味財産額(①+②)	1,625,000	0	1,625,000

- ① 「特定非営利活動に係る事業」と「その他の事業」で会計を区分
- ② 「経理区分振替額」でその他の事業の収益を特定非営利活動に係る事業の収益に繰り入れる
- ③ その他の事業の支出規模は、総支出額の2分の1以下

# 貸借対照表

A4 貸借対照表 (令和〇〇年3月31日現在)  
特定非営利活動法人食生活支援クラブ

科目	金額	金額
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金及び預金	1,348,000	
未収会費 〇〇年度分	42,000	
流動資産合計	1,390,000	
2 固定資産		
敷金	62,000	
備品	120,000	
車両	780,000	
固定資産合計	962,000	2,352,000
資産合計(A)		2,352,000
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
短期借入金	400,000	
預付金(源泉税)	98,000	
流動負債合計	498,000	
2 固定負債		
役員借入金	632,000	
固定負債合計	632,000	
負債合計(B)		1,130,000
<b>III 正味財産の部</b>		
設立時正味財産(設立当初の要事業年度以降は「前期繰越正味財産額」)	200,000	
当期正味財産増減額	1,022,000	
正味財産合計(C) = (A) - (B)		1,222,000
負債及び正味財産合計(B)+(C)		2,352,000

- ① 資産合計 = 負債合計 + 正味財産合計になる
- ② 正味財産合計が「活動計算書」の次期繰越正味財産額と一致する

一致 資産合計 = 負債合計 + 正味財産合計

※ 定款上に「その他の事業」がある場合は、その他の事業に固有の資産(例:在庫品としての備蓄資産等、本事業に繰り入れることが困難なもの)がある場合には、その資産状況を注記として記載します。また、区分を要する非営利活動のものについては基本的には記載の必要はありませんが、重要性が高いものについては注記します。

※ 短期借入金は返済期間が1年以内のものを指し、流動負債として計上します。長期借入金は返済期間が1年以上のものを指し、固定負債として計上します。

※ 役員からの借入金は役員借入金として記載します。返済期間によって、流動負債として計上する場合と固定負債として計上する場合があります。

# 計算書類の注記

ガイドブックP.77~78

※法人の状況に併せて作成してください。

**A4 計算書類の注記**  
 特定非営利活動法人生活支援クラブ

**1. 重要な会計方針**  
 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法  
 ...  
 (2) 引当金の計上基準  
 ...  
 (3) 施設等の提供等の的サービスを受けた場合の会計処理  
 ...  
 (4) ...  
 (5) ...

**2. 事業の損益の状況** ※記載するかどうか選択可【任意】 (単位：円)

科目	役員報酬	役員報酬	役員報酬	役員報酬	役員報酬	役員報酬
1. 経常収益	270,000	650,000	920,000	520,000	1,440,000	
2. 受取寄附金	50,000	200,000	450,000	450,000	450,000	
3. 受取助成金等	678,000		678,000		678,000	
4. 事業収益	6,600,000	600,000	7,200,000		7,200,000	
5. その他の収益				1,300	1,300	
経常収益合計	7,598,000	850,000	9,240,000	521,300	9,770,300	
II 経常費用						
(1) 人件費						
役員報酬	100,000	320,000	100,000	141,500	241,500	
給料手当	1,100,000	1,700,000	1,700,000		1,700,000	
臨時雇賃金	2,300,000	400,000	2,800,000		2,800,000	
労務費等	120,000	70,000	210,000		210,000	
ボランティア謝金		50,000	50,000		50,000	
人件費合計	3,520,000	580,000	4,840,000	141,500	5,081,500	
(2) その他経費						
仕入高	2,500,000		2,500,000		2,500,000	
会議費				30,000	30,000	
旅費交通費		16,000	24,000	84,000	120,000	
通信運搬費				120,000	120,000	
印刷費	150,000		150,000		150,000	
水道光熱費	180,000		180,000	96,000	276,000	
地代家賃	756,000		756,000	100,800	856,800	
施設等維持費用	300,000	200,000	200,000		200,000	
減価償却費		300,000	300,000		300,000	
租税公課				5,000	5,000	
保険料	150,000		150,000		150,000	
その他有料	4,038,000	218,000	4,260,000	375,800	4,635,800	
経常費用合計	7,558,000	798,000	8,480,000	3,200,000	9,710,000	
当期経常増減額	43,000	4,000	2,000	49,000	4,000	53,000

**3. 施設等の提供等の的サービスの受入の内訳** ※記載するかどうか選択可【任意】 (単位：円)

内訳	金額	算定方法
〇〇体育館の無償利用	200,000	〇〇体育館利用料金表に基づいて算定

**4. 施設の提供等の的サービスの受入の内訳** ※記載するかどうか選択可【任意】 (単位：円)

内訳	金額	算定方法
児童会館への無償事業利用	90,000	児童会館との協定に基づいて算定

**5. 使途等の制約された寄附金等の内訳** ※該当する場合は記載 (単位：円)

内訳	報告書内	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
〇〇児童会館等支援事業	100,000	100,000	100,000	0	報告書に非ずるが本会が所有する施設に使用されたため
〇〇児童会館	879,000	879,000	0	0	報告書に非ずるが本会が所有する施設に使用されたため
合計	100,000	779,000	779,000	100,000	

**6. 固定資産の増減の内訳** ※該当する場合は記載 (単位：円)

科目	報告書内	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
有形固定資産					
敷地	1,300,000			1,300,000	1,300,000
建物	160,000			160,000	△40,000
器具・備品	62,000			62,000	△8,000
合計	1,522,000			1,522,000	962,000

**7. 借入金の増減の内訳** ※該当する場合は記載 (単位：円)

科目	報告書内	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	600,000	100,000	300,000	400,000
役員借入金	1,000,000	400,000	788,000	612,000

**8. 役員及びその近親者との取引の内訳** ※該当する場合は記載 (単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配関係にある者の取引
受取寄附金	200,000	100,000	0
役員報酬	200,000	200,000	0

**9. その他特許非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況** (正味財産の増減の状況) ※記載する場合は記載 (単位：円)

・特許非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況は、固定資産評価額に基づいて算定されています。  
 ・特許非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況は、報告書の作成時点の状況に基づいて算定されています。  
 ・特許非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況は、報告書の作成時点の状況に基づいて算定されています。

作成しない場合は活動計算書に記載

# 財産目録

ガイドブックP.80

**A4 財産目録**  
 (令和〇〇年3月31日現在)  
 特定非営利活動法人生活支援クラブ

科目	数量	金額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金 預金手元預り高		300,000
普通預金 〇〇銀行〇〇支店		1,048,000
未収会費 〇〇年度分	5名分	42,000
流動資産合計		1,390,000
2 固定資産		
敷金		62,000
器具・備品	1式	120,000
車両	1両	780,000
固定資産合計		962,000
資産合計(A)		2,352,000
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金 〇〇銀行〇〇支店		400,000
預り金 職員に対する源泉税	2名分	98,000
流動負債合計		498,000
2 固定負債		
役員借入金		632,000
固定負債合計		632,000
負債合計(B)		1,130,000
正味財産(C) = (A) - (B)		1,222,000

**1 確認**  
 ※財産目録は貸借対照表上の金額を併しく記載したものです。  
 (財産目録と貸借対照表の金額が整合している)

- ① 貸借対照表と金額を一致させる
- ② 個人情報を書き載せない (口座番号、個人名など)

# 年間役員名簿

ガイドブックP.81

A4

年間役員名簿

特定非営利活動法人食生活支援クラブ

役名	氏名	住所又は居所	就任期間*③	報酬の有無	報酬を受けた期間
理事	埼玉 一郎	埼玉県熊谷市〇〇町〇〇番地 △△ビル2階205号室	令和〇〇年4月1日 ～ 令和〇〇年3月31日	有	令和〇〇年4月1日 ～ 令和〇〇年3月31日
理事	鈴木 〇〇	東京都〇〇区〇〇町〇〇番地	令和〇〇年4月1日 ～ 令和〇〇年3月31日	無	
理事	山田 〇〇	埼玉県〇〇市〇〇町〇〇番地	令和〇〇年4月1日 ～ 令和〇〇年3月31日	無	
理事	小林 〇〇	埼玉県〇〇市〇〇町〇〇番地	令和〇〇年4月1日 ～ 令和〇〇年6月31日	無	
理事	渡辺 〇〇	埼玉県〇〇市〇〇町〇〇番地	令和〇〇年6月1日 ～ 令和〇〇年3月31日	無	
理事	佐藤 〇〇	埼玉県〇〇市〇〇町〇〇番地	令和〇〇年4月1日 ～ 令和〇〇年3月31日	無	
監事	加藤 〇〇	群馬県〇〇市〇〇町〇〇番地	令和〇〇年4月1日 ～ 令和〇〇年3月31日	無	

！確認

- \*①役員報酬を受けた役員については、報酬の有無に「有」の記載と、その期間を示します。
- \*②前事業年度の途中で就任・退任した役員も記載します。
- \*③「就任期間」には、役員を記載するのではなく、事業年度の始期から終期までの間の役員就任期間を記載します。就任のない役員は事業年度の期間と同一になります。
- \*④役員の変更等届出書に添付していただく「役員名簿」とは記載内容が異なりますので、ご注意ください。

①様式にご注意ください！

役員変更届の「役員名簿」とは様式が異なります

②「役名」には「理事」又は「監事」を記載します

×代表理事、理事長 等

③事業年度途中で就任・退任した役員も記載します

※前事業年度中に一度でも役員であった方全員を記載してください

④役員報酬を受けた役員については、報酬の有無を「有」にし、報酬を受けた期間を記載します。

※報酬を受けた役員の数はいずれも役員総数の1/3以下でなければなりません

21

# 10人以上の社員名簿

ガイドブックP.82

A4

社員のうち10人以上の者の名簿

令和〇〇年3月31日

\*役員名簿に記載のある役員については、役員名簿と同一の文字・表記方法で記載

特定非営利活動法人食生活支援クラブ

氏名	住所又は居所
埼玉 一郎	埼玉県熊谷市〇〇町〇〇番地△△ビル2階205号室
鈴木 〇〇	東京都〇〇区〇〇町〇〇番地・…………
山田 〇〇	埼玉県〇〇市〇〇町〇〇番地・…………
小林 〇〇	埼玉県〇〇市〇〇町〇〇番地・…………
佐藤 〇〇	埼玉県〇〇市〇〇町〇〇番地・…………
渡辺 〇〇	埼玉県〇〇市〇〇町〇〇番地・…………
加藤 〇〇	群馬県〇〇市〇〇町〇〇番地・…………
松本 〇〇	千葉県〇〇市〇〇町〇〇番地・…………
山本 〇〇	埼玉県〇〇市〇〇町〇〇番地・…………
子育て支援グループ△△△ 代表 石田 〇〇	埼玉県〇〇市〇〇町〇〇番地・…………

\*社員が法人・任意団体の場合は、氏名欄に団体名及び代表者氏名を、住所又は居所に所在地・住所を記載。

！確認

\*社員全員を記載する必要はありません。10人以上であれば何人でもかまいません。

◎社員全員を記載する必要はありません

①年間役員名簿に記載のある社員については年間役員名簿と同一の文字・表記方法で記載します

②前事業年度の末日を記載します

22

# 事業報告書類の 突合ポイント



埼玉県マスコット「コバタン」  
23

## 事業報告書と活動計算書

A4

令和〇〇年度 事業報告書

### 特定非営利活動法人生活支援クラブ

#### 1 事業の成果

法人設立2年目である〇〇年度は、会員数120名を達成し〇〇地区での事業の基盤を作ることができた。  
「配食サービス提供」事業については、当初予算〇〇万円に対して、決算額〇〇万円となった。これは、〇〇地区において、配食提供のニーズが予想を超えて増加し、高齢者・障害者への食事提供が150名となったためである。「講習会・イベント」事業については、地域の方を対象に、「地域の健康と福祉」というテーマで4回のセミナーを開催した。延べ300名の参加があり、当クラブの地域ネットワークを広げることができた。  
その他の事業としての「駐車場の運営事業」においては、〇〇市内に6台分運営をしている。事業収益として72万円をあげることができ、この収益のうち67万9千円を特定非営利活動に係る事業の配食サービスに充てた。

#### 2 事業の実施に関する事項（令和〇〇年4月1日～令和〇〇年3月31日）

##### (1) 特定非営利活動に係る事業

定数の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	人数	支出額(千円)
配食サービス提供事業	「安全・こだわり」食材での配食サービス	月～金	〇〇地区	20名	〇〇地区の高齢者・障害者	60	7,556
講習会・イベント開催事業	「地域の健康と福祉」をテーマにした講習会	10月	〇〇公民館	10名	〇〇地区の高齢者・障害者	30	796
地域ふれあい促進事業	広報誌の作成	6月・9月 12月・3月	事務所	3名	〇〇地区市民	200	848

4

年度 活動計算書  
(成立の日から令和〇〇年3月31日まで)

特定非営利活動法人生活支援クラブ  
単位 円

科目	金額
<b>I 経常収益</b>	
1 受取会費	
正会員受取会費	240,000
賛助会員受取会費	1,200,000
2 受取寄附金	
受取寄附金	200,000
施設等受入評価益	200,000
ボランティア受入評価益	50,000
3 受取助成金等	
受取民間助成金	679,000
4 事業収益	679,000
サービス提供事業収益	6,600,000
経常収益計	8,200,000
<b>経常費用</b>	
(1) 人件費	
役員報酬	100,000
給料手当	1,700,000
臨時雇賃金	2,680,000
法定福利費	210,000
ボランティア評価費用	50,000
人件費計	4,940,000
(2) その他経費	
仕入高	2,500,000
旅費交通費	24,000
車両費	150,000
水道光熱費	180,000
地代家賃	756,000
施設等評価費用	300,000
減価償却費	30,000
保険料	150,000
その他経費計	4,266,000
事業費計	9,200,000

一致

利益に寄せてください。

役員に対する報酬等のうち、事業に直接かかわる部分を計上してください。

役員に対する報酬等のうち、運営管理にかかわる部分を計上してください。

監事の職務に対する人件費は管理費として計上します。

# 前回の活動計算書と今回の活動計算書

令和3年度 活動計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)				令和4年度 活動計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)			
特定非営利活動法人食生活支援クラブ (単位: 円)				特定非営利活動法人食生活支援クラブ (単位: 円)			
科目	金額			科目	金額		
I 経常収益				I 経常収益			
1 受取会費				1 受取会費			
正会員受取会費	240,000			正会員受取会費	240,000		
賛助会員受取会費	1,200,000	1,440,000		賛助会員受取会費	1,200,000	1,440,000	
2 受取寄附金				2 受取寄附金			
受取寄附金	200,000			受取寄附金	200,000		
施設等受取評価益	200,000			施設等受取評価益	200,000		
ボランティア受入評価益	50,000	450,000		ボランティア受入評価益	50,000	450,000	
3 受取助成金等				3 受取助成金等			
受取民間助成金	679,000	679,000		受取民間助成金	679,000	679,000	
4 事業収益				4 事業収益			
当期経常増減額 (A-B)			200,000	当期経常増減額 (A-B)			53,000
III 経常外収益				III 経常外収益			
1 固定資産売却益		0		1 固定資産売却益		1,000,000	
経常外収益計 (C)			0	経常外収益計 (C)			1,000,000
IV 経常外費用				IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0		1 過年度損益修正損		31,000	
経常外費用計 (D)			0	経常外費用計 (D)			31,000
① 当期正味財産増減額 (A-B+C-D)			200,000	① 当期正味財産増減額 (A-B+C-D)			200,000
② 設立時繰越正味財産額				② 前期繰越正味財産額			1,722,000
次期繰越正味財産額 (①+②)			200,000	次期繰越正味財産額 (①+②)			1,922,000

# 活動計算書と貸借対照表

年度 活動計算書 (成立の日から令和〇〇年3月31日まで)				貸借対照表 (令和〇〇年3月31日現在)			
特定非営利活動法人食生活支援クラブ (単位: 円)				特定非営利活動法人食生活支援クラブ (単位: 円)			
科目	金額			科目	金額		
I 経常収益				I 資産の部			
1 受取会費				1 流動資産			
正会員受取会費	240,000			現金及び預金	1,348,000		
賛助会員受取会費	1,200,000	1,440,000		未収会費 〇〇年度分	42,000		
2 受取寄附金				流動資産合計		1,390,000	
受取寄附金	200,000			2 固定資産			
施設等受入評価益	200,000			敷金	62,000		
ボランティア受入評価益	50,000	450,000		備品	120,000		
3 受取助成金等				固定資産合計	780,000		
受取民間助成金	679,000	679,000		資産合計		962,000	2,352,000
4 事業収益				II 負債の部			
配食サービス提供事業収益	6,800,000			1 流動負債			
配食サービス提供事業収益	6,800,000			短期借入金	400,000		
当期経常増減額 (A-B)			53,000	預金(借入金)	98,000		
III 経常外収益				流動負債合計		498,000	
1 固定資産売却益		1,000,000		2 固定負債			
経常外収益計 (C)			1,000,000	役員借入金	632,000		
IV 経常外費用				固定負債合計	632,000		
1 過年度損益修正損		31,000		負債合計 (B)			1,130,000
経常外費用計 (D)			31,000	III 正味財産の部			
① 当期正味財産増減額 (A-B+C-D)			1,022,000	設立時正味財産 (設立当初の要事業年度以前に繰越した前期繰越正味財産額)	200,000		
② 設立時正味財産額 (要事業年度以前に繰越した前期繰越正味財産額)			200,000	当期正味財産増減額	1,022,000		
次期繰越正味財産額 (①+②)			1,222,000	正味財産合計 (C) = (A) - (B)			1,222,000
				負債及び正味財産合計 (B) + (C)			2,352,000

# 貸借対照表と財産目録

A4 貸借対照表		A4 財産目録	
(令和〇〇年8月31日現在)		(令和〇〇年8月31日現在)	
特定非営利活動法人食生活支援クラブ		特定非営利活動法人食生活支援クラブ	
単位 円		単位 円	
<b>I 資産の部</b>		<b>I 資産の部</b>	
1 流動資産		1 流動資産	
現金及び預金	1,348,000	現金 預金手元預かり高	300,000
未収会費 ○〇年度分	42,000	普通預金 ○〇銀行○〇支店	1,048,000
流動資産合計	1,390,000	未収会費 ○〇年度分	42,000
2 固定資産		流動資産合計	1,390,000
敷金	62,000	2 固定資産	
備品	120,000	敷金	62,000
車両	780,000	器具・備品	120,000
固定資産合計	962,000	車両	780,000
資産合計(A)	2,352,000	固定資産合計	962,000
<b>II 負債の部</b>		負債合計(B)	1,130,000
1 流動負債		2 固定負債	
短期借入金	400,000	役員借入金	632,000
預り金(源泉税)	98,000	固定負債合計	632,000
流動負債合計	498,000	負債合計(B)	1,130,000
2 固定負債		<b>III 正味財産の部</b>	
役員借入金	632,000	設立時正味財産(創立当初の翌事業年度以降は「前期繰越正味財産」)	200,000
固定負債合計	632,000	当期正味財産増減額	1,022,000
負債合計(B)	1,130,000	正味財産合計(C) = (A) - (B)	1,222,000
		負債及び正味財産合計(B) + (C)	2,352,000

※口座番号の記載は不要

一致

一致

ご清聴ありがとうございました

